

てしまこう

手島港（丸亀市管理地方港湾）

手島港は、丸亀港北東 21km の海上に浮かぶ手島の東部に位置し、丸亀～広島～小手島～手島を結ぶフェリーが寄港する手島の玄関港です。帆船交通時代に日本海沿岸、北海道、さらには海外にも飛雄した歴史の古い港です。

本港は、南北を高い山で囲まれ風の影響も少なく、温暖で、港内水域も広くあり避難港としても重要な位置づけにあります。

港湾の整備は、昭和 38 年以降離島振興事業の一環として逐次行ない、昭和 60 年にほぼ現在の姿となっています。

